

屋根を守り
塗り替え周期を延長します

天然アスファルト系瀝青質塗料

アスファルト

亜鉛鋼板・金属鋼板屋根の
長期防食・防音に



ATOM¹X

亜鉛鋼板・金属鋼板屋根の長期重防食・防音に

アスファルーフは、亜鉛鋼板・カラータン屋根・金属鋼板屋根用の長期防食塗料です。工場地帯の酸性雨や海岸地区の塩害等の悪条件にも充分耐えるよう設計されており、優れた耐久性を発揮します。

防食性に優れた天然アスファルトを基材とし、これに多量の微細アルミフレークを加えたことによる相乗効果で長期防食性を発揮すると共に、遮熱性・防音性も備えます。

また、塗り替え周期を延長することができるため、塗装に対するトータルコストを計算すると非常に経済性の高い塗料といえます。

特長

1. 長期防食性

非常に細かいアルミフレークが天然アスファルトの表層に鱗片上に重なりあって積層し、酸素・水分等の発錆誘引物質の侵入を防ぎ、長期にわたって防食性を発揮します。

2. 防音効果

厚く柔軟な塗膜により雨滴の衝撃音を緩和し、静かな室内空間を作りだします。

3. 耐久性

主成分の天然アスファルトは、アクリル樹脂塗料や合成樹脂塗料では密着しにくいとされる亜鉛鋼板にもよく密着し、長期間経過しても金属下地の膨張収縮に追従し続けます。

4. 遮熱性

塗膜表面のアルミフレークは、光反射性能が高く、また、天然アスファルトは伝わりにくいため、カラータンのままの場合より室内温度の上昇を小さくすることができます。

5. 温度変化に強い

アスファルーフは、激しい温度変化に対しても耐えることができます。
(-50℃ ↔ +80℃各1時間で100サイクルで異常がありません。)

6. 工期短縮工法（1回で厚膜塗装が可能）

天然アスファルトを基材にしており、一般的なアクリル樹脂塗料の2倍以上の膜厚が得られます。

荷姿

製品名	荷姿	色
アスファルーフ	18 kg / 石油缶	シルバー
アスファルーフプライマー	18 kg / 石油缶	ブラック
アスファルーフテープ	幅 75mm・100mm/長さ 20m巻	シルバー
フックボルトキャップ	袋入り	グレー



アスファルーフ



アスファルーフプライマー



アスファルーフテープ



フックボルトキャップ

塗り面積

アスファルーフ	30 ~ 45 m ²
アスファルーフプライマー	60 m ²

※下地の状況や仕様により塗り面積は増減します。

塗装方法

製品名	塗装方法	塗り回数	希釈(塗料用シンナーA)
アスファルフプライマー	特殊エアレス	1	5%以内
	はけ・ローラー	1	5%以内
アスファルフ	特殊エアレス	1	5%以内
	はけ・ローラー	2	5%以内

- プライマー、アスファルフともに原則として無希釈です。洗浄シンナーには塗料用シンナーAを使用してください。
- 塗料は使用前に充分攪拌してください。

施工仕様例

1. 亜鉛鋼板(トタン)の塗装

下地の状態	工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (日/23°C)
サビが発生している	下地処理	サンドペーパー、ワイヤーブラシ等を用いてサビを取り除き、ゴミやホコリを高圧水洗機等で取り除き乾燥します。				
	下塗り	アスファルフプライマー	塗料用シンナーA	5以内	0.30	5~14
	上塗り	アスファルフ	塗料用シンナーA	5以内	0.40	—

2. 旧塗膜の塗り替え塗装

下地の状態	工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (日/23°C)
①旧塗膜が活膜として全面に残っている	下地処理	①旧塗膜が活膜として全面的に残っている場合は、ゴミやホコリ、チョーキングを高圧水洗機等で取り除き乾燥してください。 ②旧塗膜が部分的に剥離しサビが発生している場合は、可能な限り旧塗膜を除き(2種ケレン)、ゴミやホコリ、チョーキングを高圧水洗機等で取り除き乾燥してください。				
		下塗り	アスファルフプライマー	塗料用シンナーA	5以内	0.30
②旧塗膜が部分的に剥離しサビが発生している	上塗り	アスファルフ	塗料用シンナーA	5以内	0.40	—

- はけ・ローラーでの塗装の場合、原則としてアスファルフの上塗りは2回塗りしてください。
- 下地処理に入る前に、必ず旧塗膜と基材の密着性を粘着テープ等を用いて、密着が良好であること、また、旧塗膜に塗料用シンナーAに浸した布等を当てて、塗膜がチヂミ状にならないことを確認してください。
- 異常がある場合は、電動工具を用いて旧塗膜を全面ケレンする必要があります。
- プライマーと上塗りの塗装間隔は、プライマー塗布後歩行可能ならば上塗り可能です。

3. 漏水処理(瓦棒等に穴、ヒビがある場合)

工程	材料・方法	塗装間隔 (日/23°C)
漏水処理	①漏水箇所周辺をアスファルフプライマーでタッチアップ	指触乾燥
	②タッチアップの上にアスファルフテープを貼る	直後
	③アスファルフテープの周囲を変性シリコン系、ウレタン系でコーキング	1*
下塗り	アスファルフプライマー	5~14
上塗り	アスファルフ	—

* 1日以内(23°C)に乾燥可能なシーリング材を使用した場合。

4. フックボルト部の防錆処理を含む仕様

工程	充填剤使用量	方法	塗装間隔 (日/23°C)
各仕様	①~③の各仕様を完了させる		7以上
フックボルト処理	約15g/1個	ボルトキャップにボルトキャップ充填剤を充填してフックボルトに被せる	

ボルトキャップ充填剤：一液ブチルゴムコーキング材

注) 新設および塗り替えどちらの場合でも、下地処理は必ず必要です。下地処理方法は現場により異なりますので、施工仕様書をご参照ください。

塗装機 (スプレー塗装を行う場合は、下記の塗装機にてスプレー塗装してください)

塗装機	機種	高粘度用エアレス
	最大吐出量	6L/分以上
	出力	5.0PS (3.7kW) 以上
ガン	リバースクリン機構のもの	
ノズルチップ	吐出量	4L/分以上
	口径	0.89mm (0.035インチ) 以上
	パターン幅	250 ~ 300mm
ホース	3/8インチ以上のもので50m以内が適切です	
フィルター	サクシオン側12~20メッシュの網を付けます	

※フックボルト、瓦棒のタッチアップ: スプレーが困難な部分についてはあらかじめはけ塗りをしてください。
※ご不明な点は、当社にお問い合わせください。

注意事項

- 気温が5℃以下、湿度が85%以上の場合には、塗装を避けてください。
- 塗装後24時間(23℃)以内に降雨・結露の可能性がある場合や、冬場の午後2時以降の塗装は避けてください。
- 塗布直後、塗装条件により色むらの生じる場合がありますが、日を追って目立たなくなります。
- 長期防食のため規定膜厚は必ず守って塗装してください。
- 瓦棒屋根の場合は、塗りむら防止のため、瓦棒の部分をプライマー、アスファルーフともあらかじめタッチアップしてから塗装してください。
*瓦棒タッチアップ分の材料は全体の1割程度余分に見積り計算してください。
- 折板屋根でフックボルト部にキャップをかぶせない場合は、プライマー、アスファルーフともあらかじめタッチアップしてから塗装してください。
スプレーダストの飛散防止のため、当て板、シート等で養生し、強風時の塗装は避けてください。
- スプレー塗装の場合、塗りつき部分が極端に厚くならないよう注意してください。
- はけ・ローラーでの塗装の場合、原則としてアスファルーフの上塗りは2回塗りしてください。**
- 高圧水洗の場合、ゴミ、ホコリ、チョーキング等を高圧洗浄機により除去する場合は、建物内部に漏水しないように注意してください。

〈全般的注意〉

- 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明の点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

ドローンで空撮 屋根をチェック!



アトム サーベイ システム

〈ドローン×システム×ペイント〉



調査・計測を高精度な3Dモデルで実現

※屋根の調査をご希望の方は当社までお問い合わせください。

こちらもお勧め!

全工程水性 防錆・遮熱塗装システム

アスファルーフ

- ①防錆力: 溶剤二液エポキシ防錆プライマーに匹敵。
- ②防水力: 高い伸縮性能と緻密な塗膜が雨水の浸入を防止。
- ③遮熱力: 優れた遮熱性能で工場内の作業環境改善に貢献。
- ④付着力: ガルバリウム鋼板や瀝青質系旧塗膜(架橋型)など様々な鋼板の塗り替えに最適。

アトムクス株式会社 塗料事業部

<https://www.atomix.co.jp>

検索 アスファルーフ



- | | | |
|--------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| ■本 社 | 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 | ☎03-3969-3111(代表) FAX. 03-3968-7300 |
| ■加須受注センター | 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内) | ☎0480-65-1154 FAX. 0480-65-6909 |
| ■大 阪 支 店 | 〒574-0053 大阪府大東市新田旭町2-22 | ☎072-872-3111 FAX. 072-872-1222 |
| ■仙 台 営 業 所 | 〒982-0011 仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F) | ☎022-249-7371 FAX. 022-249-7372 |
| ■新 潟 営 業 所 | 〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル) | ☎025-244-8011 FAX. 025-244-8012 |
| ■横 浜 営 業 所 | 〒224-0033 横浜市中区築港3-17-43 | ☎045-943-8911 FAX. 045-943-8912 |
| ■名 古 屋 営 業 所 | 〒462-0043 名古屋市北区八代町1-9(北村ビル2F) | ☎052-914-3900 FAX. 052-916-0892 |
| ■広 島 営 業 所 | 〒739-1734 広島市安佐北区口田1-8-17(小夫家ビル) | ☎082-845-2202 FAX. 082-845-2203 |
| ■福 岡 営 業 所 | 〒812-0863 福岡市博多区金の隈1-33-31 | ☎092-503-5200 FAX. 092-503-5308 |
| ■加 須 工 場 | 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内) | ☎0480-65-1159 FAX. 0480-65-7146 |